

地球環境と産業化研究会（SGEIS）

第3回「脱炭素と省エネビジネス」勉強会実施報告書

概 要

テーマ：いよいよ動き出す卒 FIT 時代の太陽光発電と今後の動向

内 容：11 月から突入する卒 FIT 時代は、社会的にどのようなインパクトを与えるのか、太陽光発電 670 万 kW 市場のゆくえは？

(1)地球環境・エネルギー問題の視点から太陽光発電の社会的 Value を向上させる活動に取り組む太陽光発電協会のご講演から、現状理解と今後の動向を学びます。

(2)卒 FIT に関連するビジネス展開について、大阪ガス様から事例紹介いただきます。

講演①：住宅用太陽光発電の買取期間満了後の対応等

（一社）太陽光発電協会（株式会社ソーラーパートナーズ代表取締役） 中嶋明洋氏

講演②：卒 FIT の動向と大阪ガスの最新の取組み

（一社）環境エネルギー事業協会専務理事 閑納眞一氏

大阪ガス株式会社リング計画部燃料電池推進チーム 戸張翔太氏

日 時：2019 年 10 月 2 日（水）14 時 30 分～17 時（終了後に情報交換会※を予定）

(1)14:30～14:35 主催者挨拶（15 分前開場）

(2)14:35～15:15 講演①

(3)15:15～15:55 講演②

(4)15:55～16:10 事務局連絡・休憩

(5)16:10～16:50 意見交換（質疑応答を含む）

※17:00～18:00 情報交換会（会場は別途設定）

場 所：神戸市勤労会館 404 会議室（神戸市中央区雲井通 5-1-2）

参加者：21 名（講師などを含む）

主 催：地球環境と産業化研究会

共 催：（一社）環境エネルギーネット

配布物

- 講演①住宅用太陽光発電の買取期間満了後の対応等（講演スライド）
- 講演②卒 FIT の動向と大阪ガスの最新の取組み（講演スライド）
- 質問・意見カード

- 地球環境と産業化研究会資料：リーフレット
- (一社)太陽光発電協会資料：「続けようソーラー生活」「もしもの時に備えて今すぐ確認！」

内 容

1. 住宅用太陽光発電の買取期間満了後の対応等

- 卒 FIT について
- 固定価格買取期間満了後の対応について
 - ・ 複数ある売電先の買い取りメニューやプラン、売電から自家消費への考え、メンテナンスの必要性について知る。
- 色あせない太陽光発電の魅力
 - ・ 太陽光発電が「地球のやさしい」「家計にやさしい」「停電時に活躍する」といわれることの根拠を知る。

2. 卒 FIT の動向と大阪ガスの最新の取組み

- 卒 FIT の動向、今後の課題
 - ・ 2019 年から 2023 年までの住宅用太陽光発電卒 FIT の推移や、2021 年 3 月末までの FIT 制度の抜本的見直しについて知る。
- 大阪ガスの分散型電源普及に向けた取組み
 - ・ 家庭用燃料電池エネファームの普及拡大：「日本のエネルギー政策におけるエネファームの位置づけ」「エネファームの仕組み」「エネファームの販売台数」「エネファームの余剰電力買取サービス」「エネファームのレジリエンス性能」について知る。
 - ・ 太陽光発電の普及拡大：大阪ガスの「家庭部門における太陽光パネル販売」が近畿圏の直販流通におけるシェア 1 位であることを知る。
 - ・ 太陽光発電の余剰電力買取サービス（卒 FIT 買取）：「卒 FIT 買い取りに取り組む意義」に①買取をフックとした電気契約の獲得や設備更新需要の獲得、②高度化法対応（2030 年に非化石電源比率を 44%まで高める義務を負う）に向けた非化石電源の確保と小売への活用が考えられることを知る。

3. 意見交換

- 卒 FIT に伴う太陽光発電市場の今後の動向について
 - ・ 外国、特に欧に劣後していると思われる我国において、今後の動向、計画、現状認識等を聞き取った。
 - ・ より消費しやすくなる様、政策に願う。
 - ・ 買い取り金 8 円は永久ですか。数年後に 0 になるのですか。
 - ・ 制度の全面見直しが必須。

- 卒 FIT 後のビジネスモデルと新たなビジネス展開について
 - ・ 災害対策、脱炭素化について更に詳しく聞きたかった。
 - ・ FIT がなくなると一気に設置市場が低迷すると思う。
 - ・ 太陽光発電、蓄電システム、電気自動車を含むベストなシステム設計のあり方（自家消費を前提として）。
 - ・ 4kW モデルを 2kW 程度に縮小、低価格化案はないのか？
 - ・ ソーラーパネル以外の付属機器が高価かもしれない（パソコン、接続機器、工事等）。
 - ・ 耐用年数後の太陽光パネルの処分方法や処分コストが現状どこまで加味、想定されているのか？
- 太陽光発電の余剰電力買取サービスについて
 - ・ エネファームで発電された電気は常に買い取っていただけるのでしょうか？
 - ・ 一般の人は悩んでしまうかと。
 - ・ 電力会社の本気度が見えない。
- その他、講演内容にかかわることについて
 - ・ 自立運転の価値が高まっている。
 - ・ 案内にあった社会的にどのようなインパクトを与えるのか？ 670 万 kW 市場のゆくえは？の核心をついた話がなかったのは残念でした。
 - ・ 一般的な環境ビジネスの話が聞きたかったです（蓄電池電市場につい etc…）。
 - ・ 脱炭という視点が足りていないと感じた。太陽光発電のライフサイクルで発生する CO₂ は火力発電で発生する CO₂ 量を kWh で比較した場合、多いのか少ないのかが重要では？
- アンケート

アンケート(1) 今回の勉強会について、あてはまるものを選択し○を付けてください。

 - ・ 内容について 【・非常に良かった④ ・良かった⑤ ・あまり良くなかった① ・良くなかった】
 - ・ 運営について 【・非常に良かった③ ・良かった⑥ ・あまり良くなかった① ・良くなかった】

アンケート(2) 次回以降の勉強会をよりよいものにするために、皆様のご意見を集めております。どんなことでも構いません、もっとこうしたらよくなるということを、教えてください。

 - ・ エコ、地球温暖化等について広く勉強していきたい。
 - ・ 2030 年に GHG を 2013 年比-26%、家庭部門の CO₂-40%を達成するため、対策はどうするのか。特に家庭部門。
 - ・ 研究会の事業化はありますか？ 会員の会社別ビジネスでおわるのか？

以上(世話人 土井淳 記)